



むさしだい

学校だより12月号
平成28年11月30日
中野区立武蔵台小学校
校長 戸崎 晃

互いを知り、共に生かす

～ 小中連携教育に取り組んできて ～

校長 戸崎 晃

11月28日・月曜日の給食時間、子供たちに会うと「あ、校長先生だ!」「帰ってきたの?」「校長先生、お帰りなさい。」「おはようございます。あ、こんにちわ。」などと声をかけてくれました。普段とは違う、何か不思議な感じのあいさつ??

この日の午前中、武蔵台小学校の校長は私ではなく、関年隆校長(北中野中学校長)だったのです……。北中野中学校区での小中連携教育の推進にあたり、様々な取組をしていますが、より一層理解を深めていくためには、普段の児童・生徒、教職員の様子を知ることが大切であると考え、小学校と中学校で校長を交替しようという企画を実行したのです。

さて、月曜日の武蔵台小学校は8時30分から全校朝会です。関校長先生が朝礼台に立って、あいさつとお話をしてくださいました。自己紹介から始まり、「小学校ではどんな勉強をするのかなど見に来ました。」「見かけたら声をかけてくださいね。」「20分休みは校長室にいますので遊びにきてください。」とにこやかに話してくださいました。その後、1,2,3校時は校舎内を回り授業の様子を参観されたそうです。20分休みは、関先生と遊ぼうと校長室に子供たちが訪れたそうです。

次の日、関校長先生に伺ってみると……。子供たちはみんな素直で元気、学校全体が明るい。いつも思うが、先生の指導も細かく丁寧で、各学年の発達段階に応じた工夫をされている。子供たちとも触れ合えてと

ても楽しかった、というお話でした。そして、20分休みには多くの子供たちが校長室に遊びに来てくれて嬉しかったこと、サインをせがまれて書いたことなどを楽しそうに話していただきました。

校長交替当日の私はというと、北中野中学校で8時10分から職員打合せ、30分から全校朝会でした。約430人の中学生が一堂に集まると、体育館はとてもせまく見えました。みんなしっかりとした姿勢で真剣に話を聞いてくれました。

1,2校時は授業を参観しました。数学の少人数指導、理科のTT指導では、本校卒業生の生徒に会え、とても懐かしく成長した姿が嬉しくもありました。家庭科では、3年生がお手玉を作っていました。幼稚園児にプレゼントするようで、男子生徒も懸命に縫っていました。体育館では、前方舞台側半分を使って女子がダンスを、後方半分には畳を敷きつめて男子が柔道を学習していました。校内には、生徒が考案・作成したピクトグラムがいたるところに掲示してありました。3校時は玉田副校長に中学の教職員組織や生徒の活動などについて説明をいただきました。

今回の経験を通して、小学校と中学校の違いについて、知っていることと知らなかったことが明確になり、中学校という文化の理解が進みました。そして、小学校のもつ良さを再認識するとともに課題についても考えることができました。今後、同じように半日校長をされた上鷲宮小学校の高橋校長先生を含めた校長3人で話し合い、小中連携教育に生かしていきます。

最後に、私にとっては、「お帰りなさい。」と笑顔で言ってくれる子供たちに「ただいま。」と言う度に、とても幸せな気持ちになれた一日でもありました。